令和６年度(2024 年度)　省エネルギー・新エネルギー関連施策の取組状況

令和７年(2025 年)９月
経済部ＧＸ推進局

「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画【第Ⅲ期】」に基づき、省エネルギーの推進や新エネルギーの開発・導入に関する令和６年度(2024 年度)の取組状況を取りまとめた。

１　令和６年度(2024 年度)の主な取組について

（１）需要家の省エネルギー意識の定着と実践

◆　省エネルギーの意識や行動の定着

○　省エネルギー促進総合支援事業（戦略的省エネ促進事業）【経済部】

・　省エネルギーが家計にもたらす経済的メリットを示し、家庭で実践できる身近な省エネルギーの取組を紹介するなど、省エネルギー意識の醸成につながる啓発イベントを実施。

✔　家庭向け啓発イベント：３回（札幌市 R6.8、旭川市 R6.12、苫小牧市 R7.1）
参加人数：合計 631 人

・　電力需要が増える夏季や冬季における節電・省エネの取組を促進する内容のリーフレットを作成・配布。

✔　夏のリーレット、冬のリーフレット：各 50,000 部

○　北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞（省エネルギー部門）【経済部】

・　北海道省エネルギー・新エネルギー促進条例に基づき、省エネルギーの促進と新エネルギーの開発・導入の促進に顕著な功績のあった個人・法人等を対象に、表彰を実施。

✔　大　賞：「製造現場主体の「みんなの省エネ活動」」（トヨタ自動車北海道（株））
✔　奨励賞：「カーボンニュートラルの実現を目指し、北海道の建物における省エネルギー及び太陽光発電と空気式天井放射空調システムによる Nearly ZEB 化 」（(株)オーテック）
✔　奨励賞：「【離島】奥尻町総合庁舎における ZEB Ready の実現 」（奥尻町）

○　３Ｒ連携推進事業【環境生活部】

・　道内で製造加工された一定の基準を満たすリサイクル製品を「北海道認定リサイクル製品」として認定するとともに、そのうち、道内で開発した技術を用いた北海道らしい優れた製品を北海道リサイクルブランドとして認定。
・　廃棄物等の発生・排出抑制、二酸化炭素の排出抑制について優良である事業所を表彰。

✔　北海道認定リサイクル製品　新規認定：１製品　更新認定：48 製品
✔　北海道リサイクルブランド　更新認定：１製品
✔　北海道ゼロ・エミ大賞　　応募なし

○　おうちで学ぼう！環境学習特設サイト【環境生活部】

・　総合型学習、読み物、クイズ・体験型学習の３種類に内容を整理し、親子で楽しみながら学べるコンテンツを集め､幼児から児童･生徒がおうちで学べる環境学習特設サイトを道のホームページで公開。

○　ゼロカーボン北海道普及推進事業【経済部】

・　道民・市町村に対する情報発信等を行うことにより、脱炭素意識の向上と取組推進を図る。

✔　WEB 広告（Youtube、Yahoo!ディスプレイ、Instagram）
✔　地域 PR イベントの企画・実施（札幌市・函館市・旭川市・釧路市・帯広市・北広島市・北

見市）
- ✔ 高校生向けバスツアーの実施（室蘭市、苫小牧市・厚真町・むかわ町）
- ✔ 企業共創型大学生ワークショップ「北海道デカボチャレンジ２０２４」の実施
- ✔ 地球温暖化防止活動推進員（28 名）の派遣（派遣回数：29 回、参加人数：合計 1,308 人）
- ✔ 「北海道ゼロチャレ！家計簿」アプリの普及啓発
- ✔ 北海道クールアース・デイの取組を実施

○ 北海道クールあいらんどキャンペーン【経済部】

・ 道内のオフィスや店舗を対象に「通気を良くしてできるだけ冷房に頼らない」、「その日の気温等に合った服装を選択する」など、自然の力を利用しながら快適に過ごす、北海道らしい省エネ型ライフスタイルの実践を呼び掛けるキャンペーンを実施。

- ✔ 参加登録：3,853 事業所・団体

○ 北海道あったまろうキャンペーン【経済部】

・ 道内のオフィスや店舗を対象に「過度な暖房使用を控えながらも暖かい服装などで快適に過ごす」北海道らしい省エネ型ライフスタイルの実践を呼び掛けるキャンペーンを実施。

- ✔ 参加登録：3,853 事業所・団体

○ 環境保全対策推進事業【環境生活部】

・ 各（総合）振興局において、省エネ等の取組を通じた環境にやさしいライフスタイルの実践を促すガイアナイトやパネル展の開催など省エネルギーを呼びかける普及啓発の取組を実施。

○ 自転車活用等促進事業【総合政策部】

・ 環境負荷低減などの面で SDGs の推進に資するといった自転車の持つメリットや効果等、普及啓発に係るイベントの開催やチラシの配布。

- ✔ イベント「十勝サイクルウィーク」（帯広市：R6.9）
- ✔ チラシ　イベント参加者や「もっと、自転車北海道。」のサポーター等へ配布

○ 様々な機会を活用した普及啓発【経済部】

・ 省エネ・新エネ関連の機器や「省エネ・新エネ促進大賞受賞」企業のパネル、次世代自動車などを展示し、省エネや新エネ利活用の取組、次世代自動車などについて普及啓発を実施。

- ✔ 第 38 回北海道技術・ビジネス交流会 ビジネス EXPO（札幌市 アクセス札幌、R6.11）
  総来場者数：　21,261 名

○ 「ゼロカーボンひやま」ステップアッププロジェクト【檜山振興局】

・ 檜山地域における脱炭素化を進めるため、脱炭素化への気運醸成や地域プロジェクトの創出など各自治体の取組を支援。

- ✔ ひやまゼロカーボンネットワークを活用した情報の横展開（随時）
- ✔ 先行する地域プロジェクトへの集中的な支援（奥尻町、厚沢部町、せたな町）
- ✔ 各町再エネ関係導入協議会・検討会等へのオブザーバー参加(随時)
- ✔ SNS「サステナブル北海道檜山」（Twitter・note）のアカウント開設・情報発信（R4.4～）
- ✔ 電気自動車（EV）の普及促進のため、地域イベント等に出展し、利用メリットを周知
  イベント出展回数：４回（江差町１回、乙部町１回、厚沢部町１回、奥尻町１回）
  防災訓練：２回（福祉施設２回）

○ 十勝ゼロカーボン推進事業【十勝総合振興局】

［とかち「ゼロカーボン」ネットワーク連携・普及促進事業］

・「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、環境の保全・適性利用や豊富な地域資源による再生可能エネルギーの活用について地域の住民や企業等に対し普及啓発を図るとともに、自発的な行動変容を促す。

- ✔ 「とかちゼロカーボン通信」の発行
- ✔ とかちゼロカーボン勉強会・セミナー

○ 知る・学ぶ・動く　ゼロカーボン北海道 in 釧路推進事業【釧路総合振興局】

・ ゼロカーボンへの地域住民等の理解と協力を促し、地域一体となった取組を推進するため、機運醸成を図る啓発活動を実施。

- ✔ 局内関係課連携パネル展と啓発イベント(イオンモール釧路昭和 パネル展 R7.1.14～31 うち R7.1.18 にイベント開催）来場者数約 2,500 名（イベント 96 名参加）
- ✔ 出前授業：２回（釧路公立大学 R7.2、鶴居中学校 R7.3）
  参加者：計 75 名
- ✔ 地域イベントブース出展：２回（食べるたいせつフェスティバル 2024 R6.11、第 53 回　くしろ消費者まつり R7.2）
  参加者：約 400 名

○ 脱炭素型ビジネススタイル転換促進事業【経済部】

・ 道内の中小・小規模事業者 に対して、具体的な取組方法の例示や人材育成等を総合的に支援するため、セミナーの開催、企業向け研修資料を作成するとともに、取組事例集を作成。

- ✔ 脱炭素型ビジネススタイル転換促進セミナー：４箇所＋web
- ✔ 企業向け研修資料の作成
- ✔ 「ゼロカーボン北海道」実現に向けたハンドブックの作成
- ✔ 「ゼロカーボン北海道」実現に向けた取組事例集の作成
- ✔ 排出量ボードシステム等による排出量報告の取組を促進

○ ゼロカーボン北海道実現のための胆振アクション-2024-【胆振総合振興局】

・ ゼロカーボン北海道に対する理解促進と機運醸成を図るため、ＴＥＡＭ「ゼロカーボンいぶり」を活用した意識啓発事業を実施。

- ✔ ゼロカーボントークイベントの開催（安平町　R7.2）参加人数：27 名
- ✔ 被災木物産展の開催（苫小牧市　R6.5、札幌市 R7.2）
- ✔ 緑化・植樹イベントの開催（厚真町　R6.10）参加人数：38 名
- ✔ 企業等による森林再生サポート（バスツアー）（厚真町　R6.11）参加人数：7 名

◆ 省エネルギー設備の導入とエネルギー利用の効率化

○ 省エネルギー促進総合支援事業【経済部】

［省エネルギー設備導入支援事業］

・ 高い波及効果が期待される省エネルギー設備を導入するモデル的・先駆的な取組を支援。

- ✔ 株式会社食創 精米工場・倉庫照明 LED 化事業（(株）食創：帯広市）
- ✔ 益浦本社　桂木工場　照明 LED 化事業（(株）近海食品：釧路市）
- ✔ 築古オフィスビルへの省エネ機器導入によるビルストックの有効活用と顧客満足度の向上（(札幌拓殖倉庫（株)：札幌市）
- ✔ ポルタビル LED 照明改修事業（(株）振興いわみざわ：岩見沢市）
- ✔ 社会福祉法人北叡会夢あかり・夢結路 LED 更新事業（三菱電機ﾌｨﾅﾝｼｬﾙｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ(株)北海道支店（札幌市）／（福）北叡会（江別市）
- ✔ 令和 6 年度 株式会社サングリン太陽園省エネルギー設備導入事業（(株)サングリン太陽園：札幌市）
- ✔ 老人保健施設の LED 化と見晴デイサービスセンターの老朽化空調の更新による省エネ事業（(福）滝川市社会福祉事業団：滝川市）
- ✔ ゴルフ場施設の空調・照明設備省エネ化による環境改善事業（ゴルフ場省エネ化コンソーシアム：苫小牧市、東京都）

- ✔ 銭函製造所のLED化による省エネルギー事業（甘糟化学産業（株）：東京都）
- ✔ ゼロカーボンシティ推進事業（ゼロカーボンシティ推進事業コンソーシアム：相模原市、安平町）
- ✔ フェアフィールド･バイ･マリオット札幌･ユンニの湯照明設備効率化事業（東部緑地（株）：札幌市）
- ✔ 釧路ビル省エネルギー設備面的導入事業（釧路ビル省エネ化コンソーシアム：大阪市、神戸市）

○ 食品産業エネルギー利用効率向上支援事業【経済部】

・ 食産業分野において、エネルギーの利用効率向上に資する食品ロス削減を図るため、食品工場等における食品ロス削減等の取組実態や課題等を調査するとともに、研修を実施。

- ✔ セミナー：４回（旭川市・札幌市・帯広市・函館市）
  参加者　：76名
- ✔ 報告書の配付

・ 令和４年度よりゼロカーボン北海道に貢献する工夫を行う道産食品等の表彰を実施。

- ✔ 食絶景北海道×ゼロカーボンアワード2025：大賞１品、優秀賞２品、奨励賞２品

○ 省エネ・新エネ促進・関連産業振興ワンストップ窓口【経済部、各（総合）振興局】

・ 道総研等と連携して市町村や企業等に対し、ワンストップで総合的なアドバイスを実施。

- ✔ 相談件数：61件

○ きた住まいる推進事業【建設部】

・ 北海道の気候風土に根ざした質の高い住宅である「北方型住宅」と、これをはじめとする良質な住宅を道民が安心して取得できる仕組み（「きた住まいる制度」）の普及を進めるため、以下の取組を実施。

- ✔ 事業の普及推進を目的とした有識者や関係団体等による有識者会議：５回
- ✔ 住宅関連事業者を対象とした技術講習会：１回

○ IT企業競争力強化促進事業【経済部】

・ 道内IT企業と地域の事業者とのマッチング事例を創出し、道内事業者のデジタル化を促進。

- ✔ マッチングイベントの開催　参加企業：延べ139社（IT企業38社、事業者等101社）
  （旭川市 R6.10、札幌市 R7.1、釧路市 R7.1）
- ✔ 展示会　出展企業：２社（パシフィコ横浜、R6.11）

○ 住まいのゼロカーボン化推進事業【建設部】

・ 省エネ住宅の取得・改修等や集会場等の省エネ改修などを支援。

- ✔ 56市町98事業（新築15市町、省エネ(住宅)36市町村、再エネ(住宅)44市町村、省エネ(集会場等)3市）が当該事業を活用

○ 中小・小規模企業省エネルギー環境整備緊急対策事業【経済部】

・ エネルギー価格高騰の影響を軽減するため、道内の中小・小規模企業等が行う省エネ設備への入替に対し、必要な経費の一部を助成。

- ✓ 助成金交付件数：1,779件（法人：1,063件、個人事業主：716件）

◆ 次世代自動車の積極的導入

○ 自動運転車開発拠点化促進事業【経済部】

・ 自動運転を核とした実証試験の活性化、研究開発拠点の新増設による集積など、環境・エネルギー関連産業の一層の振興に向け、自動運転サービスモデル創出に向けた情報提供を実施。

- ✔ 千葉・幕張オートモーティブワールドへの出展　来場者数22,623人、相談件数457件（千

葉県、R6.9.4～6）
✔ 先進地視察　参加企業等４社（群馬県、R7.2.4）

○ 次世代型交通プロモーション運行事業【総合政策部】

・ 公共交通における環境負荷の低減等に資するEVバスの普及促進に向けて、交通事業者等と連携しながら、プロモーション運行を実施。

✔ プロモーション運行の実施（R6.10）　運転手向け運転体験：運転者数46名
地域住民向け乗車体験会：参加者数92名

◆ 道による省エネルギーの率先実施

○ 省エネルギー等率先導入推進事業　ほか

① 高等技術専門学院【経済部】

・ 実習用機械を省電力タイプに入れ替え、または、省エネ可能な機器を整備するとともに、学院見学会等で地域の関連業界に広く公開し、省エネルギーの取組の普及・啓発を実施。

✔ 帯広高等技術専門学院　パーソナルコンピュータ：16台
✔ 札幌・室蘭・苫小牧・帯広高等技術専門学院　ＶＲ溶接機：各学院１台

② 地域食品加工技術センター【経済部】

・ 試験研究機器を省電力タイプに入れ替えるとともに、機器利用等を通じて、エネルギー消費の多い食品製造業における省エネルギーの取組の普及啓発を実施。

✔ マイクロプレートリーダーほか：５台

③ 道立工業技術センター【経済部】

・ 試験研究機器を省電力タイプに入れ替えるとともに、見学会や機器利用等で地域の関連業界に広く公開し、省エネルギーの取組の普及啓発を実施。

✔ ３Ｄモデル用CADほか：３台

④ 道立高校【教育庁】

・ 老朽化した照明器具を高効率の照明器具に入れ替えを実施。

✔ 札幌手稲高等学校

⑤ 信号灯器のLED化【道警本部】

・ 交通信号灯器のＬＥＤ化により環境配慮型設備の整備を図り、省エネルギーに向けた取組を実施。

✔ 苫小牧市内設置信号灯器ほか：126箇所

⑥ 道立栽培漁業センター【水産林務部】

・ 海水取水ポンプを高効率タイプに入れ替えるとともに、当該ポンプを可変速制御するためVVVFインバータ制御装置を導入するなど、施設の省エネ化を推進。

✔ 北海道栽培漁業羽幌センター

○ 道の率先行動推進事業【経済部】

・ 道の事務・事業の実施に当たり、地球温暖化対策推進法に基づく「第５期 道の事務・事業に関する実行計画」により、省資源、省エネルギーの推進など、環境に配慮した取組を実施。

✔ ボイラー・空調設備の高効率化
✔ エレベーターの運行の最適化
✔ 昼休みの消灯、退庁時のコンセントオフ、ナチュラル・ビズ・スタイル（省エネ・節電を意識した働きやすい服装）やノーカーデー、ゼロカーボン北海道チャレンジ等の実践を、庁内放送や掲示により職員に向け呼びかけ

○ 道立学校施設整備事業【教育庁】

・ 道立学校において照明設備のLED化を行い、省エネルギー化を実施。

✔ 着手14校、着工８校、竣工21校

○　空港脱炭素化推進計画策定事業【総合政策部】

・　空港における脱炭素化を推進することを目的に、道管理空港（女満別、紋別、中標津、奥尻、利尻）において空港脱炭素化推進協議会を設置。協議会での協議を経て空港毎に空港脱炭素化推進計画を策定。令和 6 年 10 月 11 日付けで国土交通大臣から認定を受けた。

今後、策定した空港脱炭素化推進計画に基づき、関係各者と連携しながら、空港における脱炭素化の取組を推進する。

○　空港公共事業費（LED 灯火導入）、空港単独事業費【総合政策部】

・　道管理空港において、脱炭素化を目的とした航空灯火の LED 化を推進。

- ✔ 中標津空港の LED 灯火導入に向けた設計
- ✔ 利尻空港の LED 灯火導入工事の実施
- ✔ 女満別空港の LED 灯火導入工事の実施
- ✔ 紋別空港において LED 灯火導入工事の実施
- ✔ 紋別空港・利尻空港において LED 灯火導入工事に合わせた保守品を整備

（２）新エネルギーの開発・導入に係る「３つの挑戦」

【挑戦１】多様な地産地消の展開

◆　地域の特性を活かした分散型エネルギーシステムの構築・展開

◆　徹底した省エネルギーとエネルギーマネジメントシステムの導入

○　ゼロカーボン地域プロジェクト支援事業【経済部】

［ゼロカーボン・モビリティ導入支援事業］

・　新エネルギーによる発電設備と電気自動車や定置型蓄電池を組み合わせて、余剰電力の蓄電や蓄電池からの電力供給を行うエネルギー自立型施設（V2X）の構築を支援。

- ✔ ソーラーカーポートと連系した V2B システム・環境配慮型車両導入事業（知内町）
- ✔ 福島町青少年交流センター太陽光発電設備等整備事業（福島町）
- ✔ EV 公用車を活用した地域の脱炭素の実現及び普及啓発並びに地域のレジリエンス対策の強化事業（厚沢部町）

［ゼロカーボン・ビレッジ構築支援事業（計画等作成事業）］

・　地域と企業等が連携した需給一体型エネルギーシステムを構築するための詳細設計・工事を進める上で根幹となる計画の策定、計画策定のための調査や検討会開催等を支援。

- ✔ 芽室町地域マイクログリッド導入ポテンシャル調査（芽室町）
- ✔ 枝幸町ゼロカーボンビレッジ構築計画検討事業（枝幸町）
- ✔ 美幌町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定支援業務（美幌町）
- ✔ 木質バイオマス地域熱供給基本計画策定業務（津別町）

［ゼロカーボン・ビレッジ構築支援事業（構築事業）］

・　地域と企業等が連携した需給一体型エネルギーシステムを構築するための設備導入や実施設計を支援。

- ✔ 釧路町運動公園エリアにおける再エネ面的供給事業（釧路町スマートシティコンソーシアム：スマートソーラー（株）、釧路町）
- ✔ 秩父別町地域マイクログリッド構築事業（秩父別町）
- ✔ 一の橋地区地域熱供給システム面的拡大事業（下川町）
- ✔ 中央源泉揚湯発電レジリエンス強化事業（弟子屈町）

［ゼロカーボン・イノベーション導入支援事業］

・　新エネルギー資源を活用した実用化目前の先端技術等を地域の特性に合わせて仕様や能力を最適化し、新エネルギーの製造から貯蔵・輸送・利活用までのサプライチェーンの構築等を支援。

- ✔ そば殻を原料に用いた低コストバイオコークス製造技術の実証事業（幌加内町バイオマス有効活用コンソーシアム：きたそらち農業協同組合、エア・ウォーター（株）、JFE 条鋼（株）、

巴商会（株）、幌加内町）

- ✔ 興部カーボンニュートラルイノベーション事業（興部カーボンニュートラルイノベーションコンソーシアム：岩田地崎建設（株）、大阪大学（大）、MORESCO（株）、興部町）
- ✔ 厚沢部町への寒冷地仕様風力発電導入による再エネ電力の安定的導入による地産地消と産官学連携による地域内経済循環の促進事業（厚沢部町風力発電コンソーシアム：駒井ハルテック、北海道教育大学函館校（大）、厚沢部町）

○ 新エネルギー導入促進支援事業【経済部】

[新エネルギーコーディネート支援]

・ 地域新エネルギー導入コーディネーターを配置し、新エネ導入の検討段階にある市町村等への派遣により、地域課題や自治体ニーズに即した新エネ導入の取組の事業化に向けた「伴走支援」、新エネ等導入の取組に向けたアドバイスや助言・データ分析・事業採算性の簡易検証の支援などを行う「ピンポイント支援」を実施。

- ✔ 伴奏支援の実施：６市町
- ✔ ピンポイント支援の実施：12 市町村

[ゼロカーボン推進セミナー]

・ 地域マイクログリッドや「垂直型太陽光発電」に加えて、「地熱・地中熱」、「木質バイオマス」等の新エネルギーにおける最新の動向や取組事例を紹介。

- ✔ ４回 ：帯広市・札幌市・釧路市・旭川市(R6.10)

○ 新エネルギー設備等導入支援事業【経済部】

[新エネルギー設計支援]

・ 地域が主体となって行う新エネルギー設備の設計を支援

- ✔ 木質バイオマスボイラーによる熱街区構築事業（上士幌町）
- ✔ 幕別町公共施設太陽光発電設備等設計事業（幕別町）
- ✔ ニセコ小学校「自家消費型太陽光発電」設計及び「省エネ設備」調査設計事業（ニセコ町）

[新エネルギー設備導入支援]

・ 地域が主体となって行う新エネルギー設備の導入を支援

- ✔ 特別養護老人ホーム建替えに伴う太陽光発電設備導入事業（広尾町）
- ✔ 町立知内高等学校木質バイオマスボイラー設備導入事業（知内町）
- ✔ 新ひだか児童養育相談センター太陽光発電設備及び地中熱設備導入事業（新ひだか町）
- ✔ 上富良野町立病院　地中熱設備導入事業（上富良野町）
- ✔ 排雪利用型雪氷冷熱エネルギー活用システム設備導入事業（雪冷房コンソーシアム：夕張市、（福）北海道博愛舎）
- ✔ 福島町ゼロカーボン化事業（福島町ゼロカーボン化コンソーシアム：福島町、安岡建設工業（株）、福島町森林組合）
- ✔ 太陽光発電設備による低炭素化と業務用蓄電池を利用し発災時に水源・電源を確保可能とする事業（十勝いけだミートパッカー（株）：帯広市）
- ✔ 地中熱ヒートポンプによるタンク冷却・冷暖房設備と太陽光発電設備・蓄電池の導入（北海道ワイン（株）：小樽市）
- ✔ 障害者支援施設みどりの園　新エネルギー導入事業（（福）北勝光生会）
- ✔ ジェイアール北海道エンジニアリング(株)函館建築支店　太陽光発電蓄電設備の導入事業（ジェイアール北海道エンジニアリング（株）：函館市）
- ✔ 恵庭下水終末処理場オンサイト PPA 事業（（株）エネコープ：恵庭市）
- ✔ 社会医療法人　禎心会　ら・ぱーす　新エネルギー設備の導入（オンサイト PPA モデル）（（株）エネコープ：札幌市）
- ✔ 苫小牧本店における災害対策のための太陽光設備導入事業（岩倉建設（株））

[地熱井掘削支援]

・ 地域が主体となって行う小規模地熱発電や熱利用での活用を目的とする地熱井の掘削を支援

- ✔ 該当なし

○　北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞（新エネルギー部門）【経済部】

・　北海道省エネルギー・新エネルギー促進条例に基づき、省エネルギーの促進と新エネルギーの開発・導入の促進に顕著な功績のあった個人・法人等を対象に、表彰を実施。

- ✔ **大賞「積雪に対応した北海道内最大規模のカーポート型メガソーラーの導入」（（株）ダイナックス：千歳市）**
- ✔ **奨励賞「北海道内最大規模の自家消費型メガソーラーの導入」（（株）ダイナックス：千歳市、自然電力（株）：福岡市、（株）苫東：苫小牧市）**

○　地域脱炭素専門人材育成支援事業【経済部】

・　市町村の脱炭素化を促進するため、市町村職員を対象とした研修を実施。

- ✔ **総論勉強会　　１回（R6.8）　参加市町村：30 市町村**
- ✔ **現地視察研修（太陽光、ZEB/ZEH、J-クレジット）**
- ✔ **意見交換会　　１回**

○　北の住まいるタウン推進事業【建設部】

・　北海道の優位性を活かし、地域特性に応じて、誰もが心豊かに住み続けることができ、安全・安心で暮らしやすく、資源・エネルギー循環が進んだ効率的なまち「北の住まいるタウン」の推進を図るため、以下の取組を実施。

- ✔ **「北の住まいるタウン」の普及啓発のためのパネル展（R6.9）来場者：292 名**
- ✔ **事例見学ツアー（恵庭市・苫小牧市・登別市 R6.9）参加者：41 名**
- ✔ **まちづくりセミナー（オンライン R6.9）参加人数：50 名**
- ✔ **まちづくりメイヤーズフォーラム（オンライン併用 R6.10）参加者：278 名**
- ✔ **「『北の住まいるタウン』実践ガイドブック」(WEB 版)の更新**

○　地域新エネルギー導入アドバイザー制度【企業局】

・　電気や工業用水の事業運営で蓄積してきた知識や経験をもとに、小水力発電導入候補地点の現地調査や可能性検討及び提案など、技術や経営に関するアドバイスを実施。

- ✔ **９件（４市３町１村１団体）**

・　「小水力発電導入に関する現地研修会」を実施（オンライン併用開催）。

- ✔ **参加者：50 名(25 団体 40 名、知事部局５名、民間事業者５名)**

○　省エネ・新エネ促進・関連産業振興ワンストップ窓口【経済部、各（総合）振興局】（再掲⇒P4）

- ✔ **相談件数：61 件**

○　地域省エネルギー・新エネルギー導入推進会議【経済部、各（総合）振興局】

・　市町村担当者、地元金融機関（必要に応じ企業、団体などの担当者）及び道関係部局による情報共有のため、導入推進会議を開催。(R7.2.26・オンライン開催)

- ✔ **令和６年度テーマ：「省エネ・新エネ等関連事業説明会」として、ゼロカーボン北海道の実現に向けた、ゼロカーボン推進局等の取組や関連施策について情報提供、意見交換**

○　「ゼロカーボン北海道」実現のための胆振アクション－2024－【胆振総合振興局】

・　「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、胆振管内の企業、自治体、大学などと連携しながら、理解促進・機運醸成の取組を実施。

- ✔ **TEAM「ゼロカーボンいぶり」セミナー（室蘭市　R7.1）　参加者：約 70 名**
- ✔ **FM ラジオや SNS による情報発信　FM ラジオ：12 回　SNS：67 回**

◆　需要家それぞれによる新エネルギーの活用

◆　新エネルギーを活用した熱利用の推進

○　新エネルギー導入促進支援事業【経済部】（再掲⇒P7）

○　新エネルギー設備等導入支援事業【経済部】（再掲⇒P7）

○　地域新エネルギー導入調査総合支援事業【経済部】

［地域新エネルギー導入加速化調査支援事業］

・　地域が行う新エネルギー導入のための事業可能性調査や実証実験を支援。

✔　公共施設 FS 調査（江差町）

✔　本別町地域サプライチェーン導入調査事業（本別町）

✔　オンサイトＰＰＡによる新エネルギー設備導入に係る調査・設計事業（新ひだか町）

［地熱資源利用促進事業］

・　地域が行う地熱発電や温泉熱利用を目的とした地熱井等の調査を支援。

✔　しかべ間歇泉等湧出泉源利活用可能性調査事業（鹿部町）

［地熱･温泉熱アドバイザーの派遣］

・　専門家を地域に派遣し、技術的・専門的な指導や助言等を実施。

✔　派遣先：５市町村（寿都町、北見市、豊富町、積丹町、登別市）

○　木質バイオマスゼロカーボン推進事業【水産林務部】

・　木質バイオマスボイラーの導入支援や林地未利用材の効率的な集荷に向けた技術セミナー等を実施し、木質バイオマスのエネルギー利用を促進。

✔　木質バイオマスボイラーの導入を検討する自治体等へアドバイザーを派遣
（興部町、天塩町、蘭越町、北海道建築設計監理(株)、(株)十勝池田エコバイオエナジー）

✔　林業事業体等を対象にした林地未利用材集荷・搬出技術セミナー
（旭川市・紋別市・留萌市 R6.11）参加者：83 名（会場 46 名・オンライン 37 名）

✔　市町村等を対象にした木質バイオマスボイラー導入セミナー
（釧路市 R6.10、稚内市・芦別市 R6.11）参加者：39 名（会場 18 名・オンライン 21 名）

○　バイオマス利活用推進事業【経済部】

・　バイオマス利活用の推進に向けた道民や事業者等の機運醸成を図るため、フォーラムを開催。

✔　バイオマスネットワークフォーラム（札幌市 R7.3）参加人数：113 名

○　みどりの食料システム戦略推進総合対策事業【農政部】

・　みどりの食料システム戦略を推進するため、地域のバイオマスを活用したエネルギー地産地消の実現に向けたバイオマスプラント等の調査、設計、施設整備を支援。

✔　バイオマス地産地消施設の整備（湧別町、豊頃町）

○　林業・木材産業構造改革事業【水産林務部】

・　木材の生産から流通・加工に至る総合的な国産材の供給体制を形成するため、木質バイオマスの供給・利用施設の整備等を支援。

✔　木質バイオマス供給施設の導入（紋別市）

✔　木質バイオマスボイラーの導入（厚岸町）

○　太陽光発電及び蓄電池システム共同購入事業【経済部】

・　家庭部門等を対象に道と協定を締結した事業者が事務局となり、太陽光発電システム及び蓄電池の購入希望者を広く募り、共同購入によるスケールメリットを活かした効果的な再エネの利用拡大を促進。

✔　対象地域：さっぽろ連携中枢都市圏 12 市町村、胆振管内 11 市町

✔　参加登録：634 件

○　SOYA 新エネ・ゼロカーボンプロジェクト【宗谷総合振興局】

・　管内の新エネルギーの導入やゼロカーボンの推進、未利用エネルギーの有効活用など、地域エネルギーの地産地消の取組に関して、小中高生が理解を深めることを目的とした見学バスツアーを開催。

✔　新エネ関連施設（３箇所）見学バスツアー（宗谷管内 R6.7）　参加人数：20 名

・　脱炭素社会の実現に向けて大きな効果が期待される「次世代自動車」について身近に感じていただくことを目的とした展示・試乗会を開催。

✔　次世代自動車展示・試乗会（宗谷管内 R6.9）　展示会来場者数：約 150 名
　　試乗会参加者数　　30 名

○　十勝ゼロカーボン推進事業【十勝総合振興局】（再掲⇒P2）

[再生可能エネルギー利活用促進事業]

・　十勝の優位性を発揮するバイオマスや大型太陽光発電、次世代自動車等についての普及啓発とエネルギー消費量の大きい事業者への人材育成支援を実施。

✔　十勝次世代自動車研究会の運営（R6.9、R7.3）

[オール十勝・森と木のゼロカーボン普及啓発事業]

・　豊富な森林資源や木育活動の輪を活かし、林業への理解促進や木質バイオマスなどの利用促進のイベントを実施。

✔　木の暖房フェスタ（帯広市 R6.8）

◆　「エネルギーの地産地消」を支える技術や制度の普及

○　（地独）北海道立総合研究機構における新エネルギー関係の研究開発と技術支援【総合政策部】

・　地域におけるエネルギー地産地消の取組を促進するため、新エネルギーを有効に利活用できる技術、システムなどの研究開発を行うとともに、研究成果や専門的な知見を生かした指導助言、相談対応などの技術支援を実施。

[研究テーマ]

✔　未利用農業用廃プラスチックの地域内燃料利用モデルの構築（産業技術環境研究本部）

✔　屈斜路カルデラにおける地熱資源に関する研究～次世代型地熱発電を見据えた地熱開発可能性の検討～（産業技術環境研究本部）

✔　温泉付随ガスの活用に向けた､小型ポータブル発電機利用のためのガス供給条件の検討(産業技術環境研究本部）

✔　蓄熱池を用いた季節間蓄熱システムに関する基礎研究（産業技術環境研究本部）

✔　ISO 化に対応するための北海道産チップ・ペレット燃料の品質調査（森林、産業技術環境研究本部）

✔　地熱・温泉資源の持続的利活用促進に向けた技術相談対応マニュアルの構築（産業技術環境研究本部）

✔　地域に賦存する温泉付随ガス等の利活用促進に向けた研究（産業技術環境研究本部）

○　ENEX2025 への出展【空知総合振興局】

・　石炭資源等を活用した水素製造に係る取組（三笠市）、雪冷房（美唄市）等について、三笠市及び美唄市と連携して情報発信を実施。

◆　道の新エネルギーの率先導入

○　道有施設の新エネ導入・省エネ加速化事業

①　ＥＶの導入等【経済部】

・　公用車の次世代自動車化に向けたＥＶ車と太陽光発電設備の導入を実施。

✔　電気自動車及び太陽光パネルの導入（宗谷総合振興局、日高振興局：各１台、宗谷総合振興局：４kW）

✔　充放電設備（V2B）の併設（宗谷総合振興局、日高振興局）

② 太陽光パネルの設置等【経済部】
- 道有施設を対象に、今後の事業実施の基礎データとするための調査を実施。
  - ✔ 建物の構造計算（耐荷重計算）等の調査　対象：２施設

③ 北海道消防学校【総務部】
- 公共施設における ZEB 化推進のモデルとして北海道消防学校の改築を NearlyZEB として整備。
  - ✔ **太陽光パネル　発電出力：64kW**
  - ✔ **高断熱化　　CO_2 削減量：133.1t-CO_2／年**

④ 室蘭建設管理部苫小牧出張所【建設部】
- モデル的な ZEB の整備
  - ✔ **太陽光パネル　発電出力：24kW**
    高断熱化　　CO_2 削減量：72.8t-CO_2／年
    ZEB Ready の認証を取得
    国の基準から 65%のエネルギー消費量を削減

⑤ 深川警察署【警察本部】
- モデル的な ZEB の整備
  - ✔ **太陽光パネル　発電出力：11 kW**
  - ✔ **高断熱化、照明自動制御化等　CO_2 削減量：88t-CO_2／年**
    （令和６年 10 月～令和７年３月までの実績）

○ 企業局における可能性調査【企業局】
- 水力電源開発の可能性について、調査、検討及び評価を実施。
  - ✔ 可能性調査業務委託：３件
- 垂直型太陽光発電設備 実証実験
  - ✔ 発電出力：2.76kW

【挑戦２】「エネルギー基地北海道」の確立に向けた事業環境整備

◆ 洋上風力発電をはじめとする大規模新エネルギーの開発・導入に向けた環境の整備

○ 洋上風力発電導入加速化推進事業【経済部】
- 再エネ海域利用法に基づく促進区域指定（有望区域選定）に向け、地元で進められている合意形成を支援するために住民説明会等を開催したほか、洋上風力発電に係る冊子の作成や、理解促進を図るセミナーやワークショップを開催。
  - ✔ **地域住民向け勉強会･意見交換会**　岩内町、留萌市（R6.11）、石狩市、せたな町（R6.12）
  - ✔ **大学生向け勉強会**　北海道大学（R7.1）
  - ✔ **洋上風力と地域振興に関するワークショップ**　石狩市（R6.12）

○ 洋上風力発電サプライチェーン構築・人材確保支援事業【経済部】
- 洋上風力発電に係る地域でのサプライチェーン構築に向け、関連事業への道内企業の参入促進のための参入可能な事業分野の把握や情報発信を行うとともに､今後必要とされる建設工事・メンテナンス等に係る技能人材の育成を進めるための出前授業等を実施。
  - ✔ **洋上風力発電関連事業セミナー**　函館、旭川、釧路（R6.11）、札幌（R6.12）
  - ✔ **ビジネスマッチング（札幌開催）**　第１回　参加企業：35 社（R6.9）、第２回　参加企業：32 社（R6.12）
  - ✔ **展示会出展**　GLOBAL OFFSHORE WIND SUMMIT-Japan（R6.9）、スマートエネルギーWEEK Wind Expo【春】（R7.2）
  - ✔ **出前授業（オンライン併用）**　北見工業高等学校　参加者：72 名（R6.11）、札幌工業高等学校（全日）　参加者：101 名（R6.12）、札幌工業高等学校（定時）　参加者：112 名（R6.12）

✔ バスツアー　室蘭工業高等学校　参加者：38 名（R6.9）、
滝川工業高等学校　参加者：32 名（R6.10）、
札幌工業高等学校　参加者：75 名（R7.2）

○ 「ゼロカーボンひやま」ステップアッププロジェクト【檜山振興局】（再掲⇒P2）

・ 地元企業の洋上風力発電関連産業への参入に向けた取組を実施。
✔ 洋上風力関連事業勉強会の開催（３回）
✔ 洋上風力発電事業に係る先進地視察の実施（R7.1）

◆ 送電インフラ整備などの国への働きかけ

○ 国への要望

・ 国に対し、再生可能エネルギーの導入拡大に向けた電力基盤の増強、洋上風力発電の早期導入に向けた環境整備、地域との関わりが深い再エネの導入促進、地域の実情に応じた固定価格買取制度の運用などについて要望。
✔ 令和７年度（2025 年度）国の施策及び予算に関する提案・要望（R6.5）
✔ 「GX2040 ビジョン」策定に向けた要望（R6.7、10）

◆ 水素の有効活用に向けた基盤整備

○ 水素サプライチェーン構築促進事業【経済部】

・ 道内の水素関連産業の基礎形成の促進を図るため、水素サプライチェーンプロジェクト構築や道内企業の水素ビジネス参入に向けた取組を推進。
✔ 水素製造・利活用プロジェクトへの計画策定支援：２件
✔ 道内ポテンシャル調査プロジェクト等への計画策定支援：１件
✔ 水素関連ビジネスをテーマにした利活用検討会を実施（６回）
✔ 北海道水素イノベーション推進協議会を開催（R7.3）

○ 「ゼロカーボン北海道」実現のための胆振アクションー2024ー【胆振総合振興局】（再掲⇒P8）

・ 「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、胆振管内の企業、自治体、大学などと連携しながら、理解促進・機運醸成、水素の利活用促進の取組を実施。
✔ TEAM「ゼロカーボンいぶり」セミナー（室蘭市　R7.1）参加者：約 70 名
✔ FM ラジオや SNS による情報発信　FM ラジオ：12 回　SNS：67 回
✔ 水素関連施設の視察（苫小牧市　R6.10、R7.3）参加者：45 名

◆ 新たな技術の開発・活用

○ カーボンニュートラルファーストステップ支援事業【経済部】

・ 道内各地域の様々な業種の企業等に対し、令和 4 年度に作成したモデルプランを活用し、取組可能で効果的な CN 化プランの作成を支援する。
✔ 先導モデルとなる道内企業の CN 化プランを作成・公開：15 社

○ （地独）北海道立総合研究機構における省エネ・新エネ関係の研究開発と技術支援【総合政策部】

・ 省エネルギー・新エネルギーに関連する技術、システムなどの研究開発を行うとともに、研究成果や専門的な知見を生かした指導助言、相談対応などの技術支援を実施。

［省エネルギー関係研究テーマ］
✔ 自己熱再生による省エネルギーシステムの北海道内における実用化に向けた研究（産業技術環境研究本部）
✔ 屈斜路カルデラにおける地熱資源に関する研究～次世代型地熱発電を見据えた地熱開発可

能性の検討～（産業技術環境研究本部）（再掲⇒P10）

- ✔ 蓄熱池を用いた季節間蓄熱システムに関する基礎研究（産業技術環境研究本部）（再掲⇒P10）
- ✔ 熱源機器の効率的な運用に向けた部分負荷効率の測定法の開発（建築研究本部）
- ✔ 北海道における太陽光発電による住宅のエネルギー自給率向上に関する研究（建築研究本部）
- ✔ ISO 化に対応するための北海道産チップ・ペレット燃料の品質調査（森林、産業技術環境研究本部）（再掲⇒P10）

【挑戦３】省エネルギーの促進や新エネルギーの開発・導入と一体となった環境関連産業の振興

◆ 道内企業の参入に向けた関連市場の拡大

○ 環境・エネルギー産業総合支援事業【経済部】

・ 道内企業の環境・エネルギー分野への参入促進を図るため、地域の支援機関も含めて、相談やマッチングなどの継続的かつ多面的な支援を実施。

- ✔ 環境・エネルギー産業向け開発・販路拡大に向けた伴走支援の実施：５件

・ 道外で開催される展示会に北海道ブースを出展し、道内企業の優れた技術や製品を道内外に広く PR。

- ✔ SMART ENERGY WEEK　大阪府内（R6.11.20～22)出展道内企業：４社　来場者数：1,127 名
- ✔ ENEX2025 東京都内（R7.1.29～1.31）　出展道内企業：10 社　来場者数：1,182 名
- ✔ SMART ENERGY WEEK　東京都内（R7.2.19～21)出展道内企業：５社　来場者数：1,224 名

◆ 環境関連産業への国内外からの投資の促進と道内企業の参入

○ 企業立地促進費補助金【経済部】

・ 北海道産業振興条例に基づく助成措置において、成長産業分野の対象業種として新エネルギー供給業（風力やバイオマス等をエネルギー源とした発電事業）に対し補助金を交付

○ 環境負荷低減型産業集積・人材育成事業【経済部】

・ 企業誘致セミナーの開催や展示会への出展、グリーン・デジタルやビジネス分野に精通する専門家による企業訪問などにより、本道の立地優位性を活かした誘致活動を実施。

- ✔ 誘致セミナー：３回（東京都 R6.11、大阪市 R7.2、名古屋市 R7.2）
- ✔ 展示会出展：メッセナゴヤ(名古屋市 R6.10)

○ データセンター集積推進事業【経済部】

・ データセンター立地適地としての北海道を PR する北海道データセンターセミナーを道外で開催

- ✔ 東京都（R7.1）　参加人数：246 名

○ 中小企業総合振興資金貸付金【経済部】

・ 北海道の制度融資である中小企業総合振興資金に、省エネ・新エネ、環境負荷の低減を図る施設等の導入や省エネ・新エネ、環境産業に係る新技術等の事業化などを対象とした融資メニューのほか、ゼロカーボン・チャレンジャーに登録した中小企業者等を対象とした融資メニューを設定。

- ✔ ライフステージ対応資金「ステップアップ貸付【政策サポート】（環境・エネルギー）」
- ✔ ライフステージ対応資金「ステップアップ貸付【ゼロカーボン】」

◆ 技術・製品開発、販路開拓・拡大の推進

○ 環境・エネルギー産業総合支援事業【経済部】（再掲⇒P13）

［出展支援］（再掲⇒P13）

［技術・製品開発支援］

・　省エネや新エネに関する製品・技術の開発や改良、実証試験及び販路拡大のための市場調査、展示会への出展等の取組を支援。

- ✔ **垂直型及び傾斜型太陽光発電設備の発電効率比較実証事業(十勝営農ソーラー コンソーシアム：帯広市)**
- ✔ **高性能鉛蓄電池を用いた家庭向け創蓄連携システムの開発(有限会社河村工業：函館市)**
- ✔ **廃食用油を活用したハウス用暖房機の改良（一般社団法人北海道エコ普及環づくり協会：札幌市）**

○　ものづくり産業におけるグリーン・デジタル推進事業【経済部】

・　道内ものづくり産業の生産性向上及び競争力強化のため、脱炭素・DX を推進するセミナー等を開催するとともに、アドバイザーによる技術指導や展示会の開催などにより次世代自動車等の環境配慮型産業への販路拡大、人材育成等への取組を支援。

- ✔ **セミナー・相談会（帯広市 R6.8、函館市 R6.9）セミナー参加者：158 名、相談企業：９社**
- ✔ **マッチング会（道央圏、道北圏、道南圏、十勝圏 R6.11～R7.2）**
- ✔ **専門家派遣：16 社**
- ✔ **合同展示会（愛知県 R7.1）**

○　中小企業競争力強化促進事業【経済部】

・　道内中小企業等が、ＤＸやゼロカーボン等の新たな社会経済情勢の変化に対応するため、マーケティング支援やコンサルタント等招へい、人材育成・確保や商品開発など競争力強化に向けた取組を支援。

- ✔ **マーケティング支援　採択 13 件、補助額 10,645 千円**
- ✔ **コンサルタント等招へい支援　採択１件、補助額 1,000 千円**
- ✔ **産業人材育成・確保支援　採択４件、補助額 712 千円**
- ✔ **市場対応型製品開発支援　採択８件、補助額 20,051 千円**

省エネルギーの取組状況

区分		H29年度（2017）実績	H30年度（2018）実績	R1年度（2019）実績	R2年度（2020）実績	R3年度（2021）実績	R4年度（2022）実績 a	対前年	R12年度（2030）目標 b	達成率 b/a
産業部門	(農業粗生産額＋漁獲高＋製造品出荷額)当たり産業部門エネルギー消費量（2015年基準：実質値） 単位：GJ/百万円	41.4	38.6	33.0	30.4	29.2	24.2	−5.0	29.6	122.3%
家庭部門	世帯当たり家庭部門エネルギー消費量 単位：GJ/世帯	55.6	51.1	55.3	48.9	49.0	48.8	−0.2	44.0	90.1%
業務部門	業務床面積1㎡当たり業務部門エネルギー消費量 単位：GJ/㎡	2.5	2.6	2.5	2.3	2.5	2.7	0.2	2.1	77.7%
運輸部門	自動車保有台数1台当たり運輸部門エネルギー消費量 単位：GJ/台	57.3	56.6	55.9	47.5	48.8	51.4	2.6	42.6	82.8%

※直近の公表資料（都道府県別エネルギー消費統計、道民経済計算等）により算出
※国の統計に変更があった場合は再算出

新エネルギーの導入状況

【発電分野】
設備容量（万kW）

区分	H30年度（2018）実績	R1年度（2019）実績	R2年度（2020）実績	R3年度（2021）実績	R4年度（2022）実績	R5年度（2023）実績 a	対前年	R12年度（2030）目標 b	達成率 a/b
太陽光（非住宅）	136.7	173.1	191.5	199.8	202.0	218.8	16.8	269.5	81.1%
太陽光（住宅）	17.1	18.1	19.3	20.5	22.1	26.1	4.0	35.4	73.8%
陸上風力	44.3	50.5	54.8	59.4	84.0	112.8	28.8	184.6	61.1%
洋上風力	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	10.0	9.9	150.9	6.6%
中小水力	82.4	82.8	83.2	85.4	88.4	76.4	−12.0	92.7	82.4%
バイオマス	12.8	13.8	14.1	25.2	40.0	42.5	2.5	55.8	76.1%
地熱	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.9	0.4	11.0	26.4%
廃棄物	24.1	24.2	24.1	24.1	24.1	24.1	0.0	24.1	100.0%
合計	320.0	365.1	389.6	417.1	463.2	513.6	50.4	824.0	62.3%

※太陽光の非住宅は出力10kW以上、住宅は出力10kW未満のもの。

発電電力量（百万kWh）

区分	H30年度（2018）実績	R1年度（2019）実績	R2年度（2020）実績	R3年度（2021）実績	R4年度（2022）実績	R5年度（2023）実績 a	対前年	R12年度（2030）目標 b	達成率 a/b
太陽光（非住宅）	1,608	2,096	2,474	2,809	2,863	2,975	112	3,140	94.7%
太陽光（住宅）	195	213	238	280	297	309	12	400	77.1%
陸上風力	1,001	1,019	1,609	1,310	1,671	2,253	582	4,188	53.7%
洋上風力	2	1	2	3	3	164	161	3,965	4.1%
中小水力	3,917	3,159	3,398	3,385	3,990	3,491	−499	4,133	84.4%
バイオマス	731	813	821	1,621	1,712	1,883	171	2,811	66.9%
地熱	146	129	129	113	110	250	140	629	39.8%
廃棄物	1,011	1,356	1,395	1,599	1,261	1,274	13	1,189	107.1%
合計	8,611	8,786	10,065	11,120	11,907	12,598	691	20,455	61.5%

【熱利用分野】
熱量（TJ）

区分	H30年度（2018）実績	R1年度（2019）実績	R2年度（2020）実績	R3年度（2021）実績	R4年度（2022）実績	R5年度（2023）実績 a	対前年	R12年度（2030）目標 b	達成率 a/b
バイオマス	4,150	4,242	4,235	4,517	4,341	4,645	304	8,078	57.5%
地熱	2,443	2,431	2,565	2,613	2,595	2,621	26	3,561	73.6%
雪氷冷熱	45	45	46	46	46	46	0	65	70.9%
温度差熱	2,198	2,326	2,445	3,083	3,349	3,482	133	2,692	129.3%
太陽熱	9	8	8	8	7	7	0	9	77.7%
廃棄物	5,868	5,526	5,252	5,375	5,088	5,444	356	6,555	83.0%
合計	14,713	14,578	14,551	15,642	15,426	16,245	819	20,960	77.5%

◆ 北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画【第Ⅲ期】補助指標の進捗状況

項目				実績 R5	実績 R6
部門別	産業・業務	省エネルギー法の定期報告に基づく事業者クラス分け評価Sクラスの割合※		44.1%	–
		ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の新築件数		4件	3件
	家庭	家庭用灯油の世帯当たり購入量		692ℓ	714ℓ
		省エネ基準を満たす住宅ストックの割合		25.7%	27.1%
	運輸	次世代自動車保有台数※		446,715台	–
		EV(電気自動車)、FCV(燃料電池自動車)の充電等インフラ設置数		783	846
	地域	新たに新エネルギー導入に取り組む市町村数※	公共施設への導入	14	–
			補助制度	9	–
			出資	1	–
			整備計画策定等への参画	2	–
		地域マイクログリッド構築に取り組む市町村数 (※経済産業省の補助金を活用し取組を進めている市町村)		5	5
基盤整備		洋上風力発電の導入実績 (「再エネ特措法に基づく認定量」)		1	0
環境関連産業		道外展示会における道内企業の出展数、商談件数	出展数(WEBを含む)	38件	38件
			商談件数	97件	128件
その他		コージェネレーションシステム(エネファーム)の導入状況		132台	130台

※直近の公表数値による